

受験番号	
------	--

平成29年度大阪府公立学校教員採用選考テスト
自立活動教諭 解答用紙 (4枚のうち1)

5	得点	
---	----	--

(1)	ア 主体	/	<input type="checkbox"/>
	イ 調和	/	

(2)	ア 実践(Do)	/	<input type="checkbox"/>
	イ 改善(Action)	/	

(3) ①	<p>痙直型は錐体路の障がいがある時に特徴的にみられる。筋肉が固く硬直しており、他動的に伸展させようとする抵抗が生じる。脳性まひの中で最も多いのが痙直型である。</p> <p>アテトーゼ型は筋肉のコントロールと協調の障がいが見られ、筋肉の緊張が安定せず不随意運動が見られる。大脳基底核などの錐体外路の障がいに関与している。</p>	/	<input type="checkbox"/>
----------	---	---	--------------------------

受験番号	
------	--

平成29年度大阪府公立学校教員採用選考テスト
自立活動教諭 解答用紙 (4枚のうち2)

5 (続き)

(3) ②	ア 環境の把握	/	<input type="checkbox"/>
----------	---------	---	--------------------------

(3) ③	<p>児童Cを指導するなら、合成音声タイプで50音のひらがながキーボード状に配列されたVOCAを使用したい。このVOCAは、50音のひらがなのキーを押して、1音ずつ読み上げたり、まとめて読み上げたりするものである。</p> <p>児童Cは、指さしができるので指でキーを押して操作できると推察されることと、ひらがなが理解できるので、50音のキーを自分で押して伝えられると推察されることから、このVOCAは実態にあっていると思われる。また、読み上げ機能により発音が不明瞭な部分を機器で代替できると考える。</p>	/	<input type="checkbox"/>
----------	--	---	--------------------------

受験番号	
------	--

平成29年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

自立活動教諭 解答用紙 (4枚のうち3)

5 (続き)

<p>(3) ④</p>	<p>児童Cは、発音が不明瞭で指さしやジェスチャーを用いて意思表示を行うが、うまく伝わらずにあきらめてしまうことがあるとの実態をふまえて、本授業では、伝わったと実感できて自信をもてたり、郵便物の届け先の教員から感謝されることで自己有用感を感じられたりすることに留意しながら、VOCAの活用を行っていきたい。</p> <p>本授業までの準備段階では、受付ボックスをつくり、「〇ねん〇くみ 〇〇せんせい」等、宛先を書いた手紙や荷物を、協力してもらえる教員に入れてもらう。</p> <p>日常会話は理解できているので、あらかじめ、児童Cと一緒に郵便を届ける場面にはどんな言葉がよいかを考える。郵便を題材にした授業なので、「郵便です。どうぞ。」などのやりとりの言葉や「〇〇先生」などの呼びかけなども考えたい。あわせて、考えた言葉や届け先の教員の名前を50音のキーで押す等操作の練習をしておく。</p> <p>届ける先の教員とのコミュニケーションがスムーズになったり、一層楽しさを感じたりすることができるよう、届ける先の教員との連携も密にし、児童Cの学習課題や目標について共有しておく。児童C自身が、伝わった達成感や人に喜んでもらった実感をもてるようなことばかけ等を行ってもらうように届ける先の教員に依頼する。</p>
------------------	--

